

三角形を解く [三角形の決定条件]

1

Hさん：三角形には3つの辺と3つの角があって、いくつかの辺や角が与えられたとき、残りの辺や角を求めることを「三角形を解く」というらしいよ。

Tくん：ふーん。そうなんだ。そういえば、そういう問題、たくさん解いたよ。テストにも出たな～

Hさん：正弦定理，余弦定理は覚えてる？

Tくん：うーん。多分・・・

問題 次の枠を埋めてみよう。

2

H さん：与えられた条件によって、どの定理を用いればよいのかを考えると楽しいね。

T くん：楽しいかな～？適当に式に値を代入して、何かが求められたらラッキー！って感じだけど。

H さん：・・・・・・・・

T くん：三角形が 1 通りの場合と 2 通りの場合があるのは何でだろう？って、思ってたよ。

H さん：それはいいところに目を付けたね！

問題 次の場合、三角形が 1 通りに定まるか、定まらないかを調べてみよう。

3

H さん：2の(3)について，もう少し詳しく調べてみましょう。

問題 2の(3)において，右の図のように b を考え， b に関する方程式を作り，その解と三角形の関係を考察してみよう。

